

Industry



自動車ガラス交換用 下地処理方法



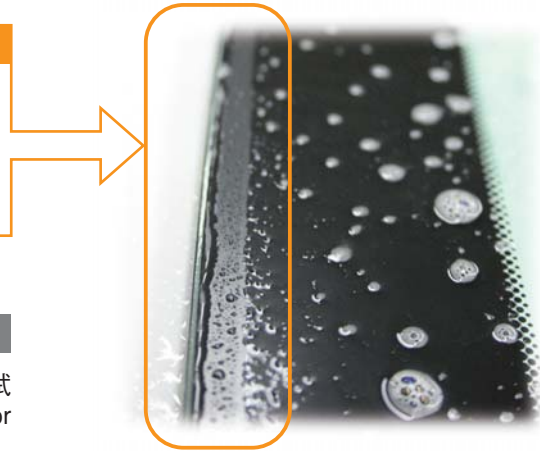
自動車ガラス交換手順

ガラスのクリーニング

ガラス面(セラミック面)にはシリコン汚染などが残っている場合があります、接着を阻害します。新品ガラスは必ずクリーニングを行って下さい。

シリコン汚染の見分け方

Sika®CleanGlassをセラミック面にスプレーし、表面を完全に濡らします。シリコン汚染のある所は液体を弾くので、注意深く観察して下さい。(写真参照)



シリコン汚染がない場合

弾きがなく、セラミックに汚染がない場合は乾いたウエスで拭取して下さい。その後、完全に乾いた状態でSika® Aktivatorの工程に進んで下さい。

シリコン汚染がある場合

弾きがあり、セラミックに汚染がある場合は乾いたウエスで拭き取り、その後、Sika®Cleaner S (II) の工程に進んで下さい。

Sika® Cleaner S (II) の使用方法

1. 缶を10秒ほどよく振ります。
2. ガラス面(セラミック面)より5cm程度離して少量スプレーします。
3. Sika®Cleaner S (II) を清浄なコットンなどで塗り広げながらこすり落とします。
4. その後、Sika®CleanGlassを使用してガラス面に残ったSika®Cleaner S (II) を完全に除去します。
5. Sika®CleanGlassの残渣はきれいに除去し、乾燥させて下さい。
6. 通常のガラス接着作業手順に従い、Sika® Aktivatorの工程に進んで下さい。

下地処理一覧表

シーカの自動車ガラス交換用接着剤を使用する際の下地処理一覧表です。下表は自動車ガラスの補修用なので、バス・トラック・鉄道車両などの場合にはお問い合わせ下さい。

	被着体	処理方法
ガラス側	均一なセラミックコート面	Sika® Aktivator (シーカアクティベーター)
	上記以外のセラミックコート面	Sika® Aktivator の後に Sika® Primer-206G+P (シーカアクティベーターの後にシーカプライマー-206G+P)
	セラミックコートのないガラス(乗用車のみ)	Sika® Aktivator の後に Sika® Primer-206G+P
	塩ビ樹脂	表面のサンディング(#120~#240)の後にSika® Primer-215
ボディー側	古いウレタン接着剤のカット面	Sika® Aktivator
	通常のボディー塗料	Sika® AktivatorまたはSika® Aktivator+Sika® Primer-206G+P
	フッ素系、耐擦傷用など高品質塗料	Sika® Primer-209N
	塗面への小さな傷(タッチアップ用)	Sika® Primer-206G+PまたはSika® Primer-209N

* 接着面は事前に脱脂・清掃を行って下さい。

* ガラス樹脂、塗料などは成分の配合により接着性に差が出てくる場合がありますので、予備テストを行って下さい。

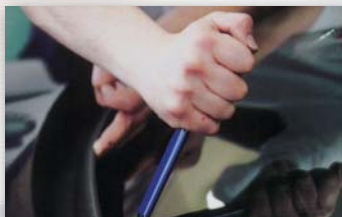
* 各製品の取扱いについてはそれぞれのプロダクトデータシートをご覧ください。



自動車ガラス交換手順

1

古いウレタン 接着剤のカット



カバーモール、ワイパーなどをメーカーの取り扱い説明書に従い取り外します。
ガラス周囲の塗面を脱着時の傷から守る為マスキングします。
接着剤を専用カッター、ワイヤーなどで切り取ります。

2

ガラス取り外し



吸盤を使用しガラスを取り外します。

3

台座のカット



台座として古いウレタン接着剤を1~2mm残しながら余分な接着剤をきれいにカットします。

4

ガラス 位置合わせ



新しいガラスがボディに合致するか確認します。
必要であればスペーサーを挿入し位置合わせ後、マスキングテープで位置決めをします。

5

ガラスの清掃



新品ガラス面にはシリコンなどの汚染が残っている場合があり、接着を阻害しますので、必ずクリーニングを行って下さい。
(ページ冒頭のガラスのクリーニングを参照して下さい)

6

ガラス側の 下地処理



「下地処理一覧表」を参照して適切な下地処理を行って下さい。
下地処理後は乾燥時間を守り養生して下さい。

7

ボディ側の 下地処理



「下地処理一覧表」を参照して適切な下地処理を行って下さい。
下地処理後は乾燥時間を守り養生して下さい。
※ボディ側に新しく塗装をかけた場合は塗装が完全に硬化した後接着剤を施工して下さい。

8

タッチアップ



取り外し作業中にできた塗面の小さな傷はSika® Primer 206G+PまたはSika® Primer209Nを使い補修して下さい。
※古い接着剤の台座の上には塗料、プライマーを塗らないで下さい。

9

接着剤の塗布



シーカガラス用接着剤をガラス側もしくはボディ側に塗布します。
この時、接着剤の形状は三角形になるようにノズルをカットします。
※カーメーカーの指示がある場合はそれに従って下さい。

10

ガラス取り付け



新しいガラスは接着剤塗布後、オープンタイム以内にボディに取り付けて下さい。
(詳細はプロダクトデータシートをご参照下さい。)
接着剤が確実に付くようにガラスの縁を外側から全周にわたり軽く押し、所定の位置にセットします。
作業中はドアもしくはサイドガラスを開けておいて下さい。

11

モールはめ込み、 養生



モールを元通り押し込みます。はみ出した接着剤は硬化前に取り除きます。(アルコール類は使用しないで下さい。)
接着剤が十分に硬化するまで、ドアを閉める時は窓を開けゆっくりと行って下さい。
車を安全に走行できる時間は「安全走行可能時間チャート」をご参照下さい。

下地処理剤 (各使用方法については各プロダクトデータシートを参照して下さい。)

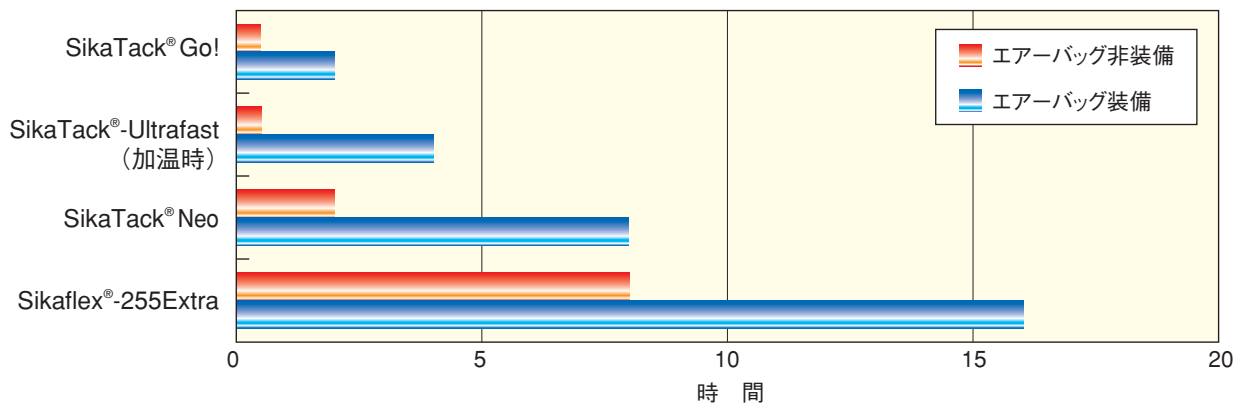
製品名	色	荷姿	乾燥時間 ^{注)}
Sika® CleanGlass	ライトブルークリアー	500ml×15本/箱	—
Sika® Cleaner S (II)	クリアー	400ml×12本/箱	—
Sika® Aktivator	クリアー	30ml×24本/箱 250ml× 6本/箱	10分以上2時間以内 (15℃以上の時) 30分以上2時間以内 (15℃以下の時)
Sika® Primer-206G+P	ブラック	30ml×24本/箱 100ml× 8本/箱 250ml× 6本/箱	10分以上24時間以内 (15℃以上の時) 30分以上24時間以内 (15℃以下の時)
Sika® Primer-209N	ブラック	250ml× 6本/箱	30分以上24時間以内
Sika® Primer-215	透明な薄黄色	30ml×24本/箱 250ml× 6本/箱	30分以上24時間以内 (15℃以上の時) 60分以上24時間以内 (15℃以下の時)

注) 乾燥時間は使用温度によって異なる場合があります。

自動車ガラス交換用接着剤

製品名	色	荷姿	Sika®Aktivator
SikaTack® Go!	ブラック	300mlカートリッジ×12本/箱	30ml×2本入り
		400mlソーセージパック×12本/箱	30ml×2本入り
SikaTack®-Ultrafast	ブラック	300mlカートリッジ×12本/箱	30ml×2本入り
		360mlソーセージパック×12本/箱	30ml×2本入り
SikaTack® Neo	ブラック	400mlソーセージパック×12本/箱	30ml×2本入り
Sikaflex®-255Extra	ブラック	320mlカートリッジ×20本/箱	30ml×3本入り
		400mlソーセージパック×12本/箱	30ml×2本入り

安全走行可能時間 (ガラス接着後安全に自動車を走らせる事ができる時間)



※上表は23℃,50%r.h.の場合 (温度湿度により変化します)

シーカ製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらすものでもありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のプロダクトデータシートの最新版に留意して下さい。プロダクトデータシートの最新版をご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複製複製及び無断転載は禁止されています。



日本シーカ株式会社
工業製品本部
〒254-0021 神奈川県平塚市長瀬1-1
TEL 0463-21-1106 FAX 0463-22-9965
<http://www.sika-japan.co.jp/>



認証取得：平塚・小野・新南陽